

■党首交代で民主党は政権交代への攻勢モードに入った模様。麻生内閣の支持率上昇傾向は継続中だが、鳩山新代表を中心に民主党による国政の舵きりが進むか注目したい。

● 支持政党の変化とその要因（第4回目から第5回目調査の変化）

・4回目から5回目までの間で、民主党では小沢代表が辞任、鳩山民主党として新しい船出をきった。その直後の結果となる今回の政党支持率では、民主党が大きく5ポイント近く上昇し、不正献金問題にけじめをつけ、早期に代表を選出したことがプラスに作用した。自民党はわずかに減少、無党派も減少した。

・民主党支持者は、「民主党新代表に鳩山氏就任」が最も影響を与えた模様。さらに、「15兆円規模の追加経済対策実施」「麻生首相の天下り等への対応」への関心度が依然高いことから、代表交代とともに、政官癒着構造といった旧態依然体質の政治不信は根深い。自民党支持者は、「15兆円規模の追加経済対策実施」の関心が相変わらず高く、「小沢代表秘書ら逮捕」「民主党新代表に鳩山氏就任」についても関心の高さがみられた。無党派層では「15兆円規模の追加経済対策実施」と「民主党新代表に鳩山氏就任」についての関心が拮抗し、それに次いで「天下り等への対応」が続く。経済対策への具体的効果を見極めているのか、それとも、民主党新体制の行方と政官癒着構造対応という政党評価をしているのだろうか。

政局が与野党の不手際を責め合うことで変動がみられた状況が続く中、民主党の党首交代により、衆議院選挙で政権交代を目指す体制が整い、政治本来の課題について、論戦モードに入っていくものと考えられる。

● 政治への関心と投票意識

・政治への関心度を3月の調査開始以来の推移でみると、民主党支持者で直近の党首交代後の関心が上昇したものの、自民党支持者では現状で推移。民意に近いと思われる無党派層をみても、政治への関心そのものが低く、減少傾向が続く。

・次回の衆議院選挙への参加についても、無党派層での参加意向は減少傾向が続いていることから、民主党代表交代だけでは、政治への関心は上がらないというシビアな状況がみてとれる。

・有権者として実際に選挙区、比例区の投票を、現時点でどの政党にするかを、支持政党別に聞いてみた。（支持政党は選挙における政党選択の基本と考えられるが、実際の投票は現時点での考えによるところが大きいいため、政党支持率とは異なる）。結果としては、民主党が党首交代の後に大きくポイントをのばした。現時点でみる限り、投票行動は民主党に風が吹いているようだ。

● 各党党首評価

・麻生内閣の支持率は、自民党支持者では上昇傾向が続き、直近での伸びも大きい。無党派層でも上昇傾向がみられており、麻生内閣自体の支持率は民主党支持者を除くと上昇傾向が続いている。与党の中で現首相に代わる切り札が見つからないという国民の現れとも読み取れる。

・一方、小沢代表辞任については、賛成という意見が各層とも過半数を占めるが、鳩山代表については、民主党支持者でも「ふさわしい」が過半数に届かない状況でもあり、党首交代の中身まで含め、民主党の党首交代は評価が別れているところに注目したい。

● 衆議院選挙の時期と選挙後の政権

・衆議院選挙の時期については、民主党支持者が「一刻もはやい実施をすべき」が多い一方、自民党支持者は「任期満了まで待つべき」が多い。やはり、民主党にとって党首交代が反転攻勢のきっかけとなっているようだ。

・また、自民党支持者が考える理想の政権は、3月(3/17-17)当時で自民単独+自民中心連立=65.4%に対し、直近では、71.5%。民主党支持者が考える理想の政権は、3月当時民主党単独+民主中心連立=80.1%に対し、直近では、86.1%。自民党支持者と民主党支持者を比べると、民主党支持者の政権への想いの強さが感じられる結果となっている、無党派層は意外と冷ややかにみているようで、3月時からの傾向はあまりかわらず、民主党政権を望む声がやや強い。

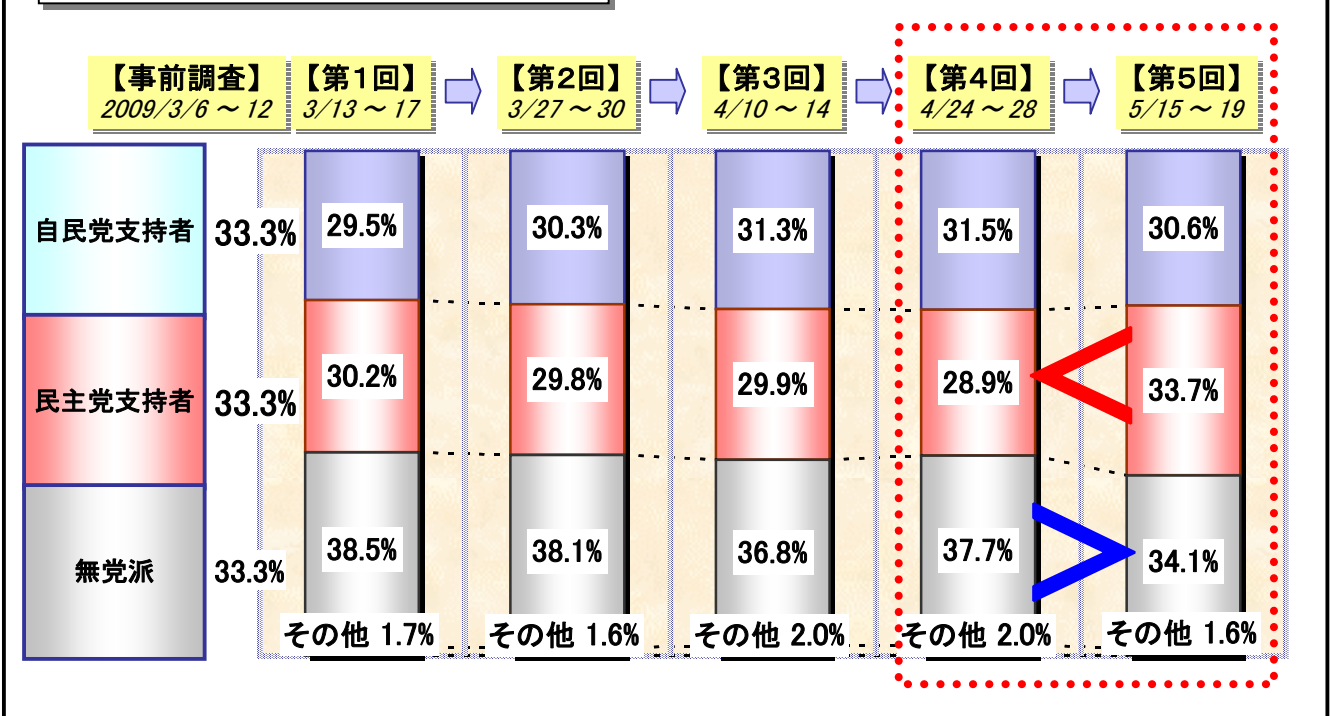
● 追加経済対策の評価

・追加経済対策を提出した、政府自民党の評価は、自民党支持者では過半数あった前回(第4回調査 4/24-28)の評価は、今回は減少。もともと評価の低かった民主党支持者、無党派層での評価の水準も低いままとなっている。

・エコポイントについては、各層での評価が前回調査では、過半数を超えていたものの、「良いと思う」の評価が各層で減少。一方、低燃費自動車買い替え補助・自動車取得税・重量税免除の政策についての評価は、前回と変わらず、一定の評価が続いている。

I. 支持政党の変化とその要因(第4回目から第5回目調査の変化)

支持政党変化の推移 (n=1,500)



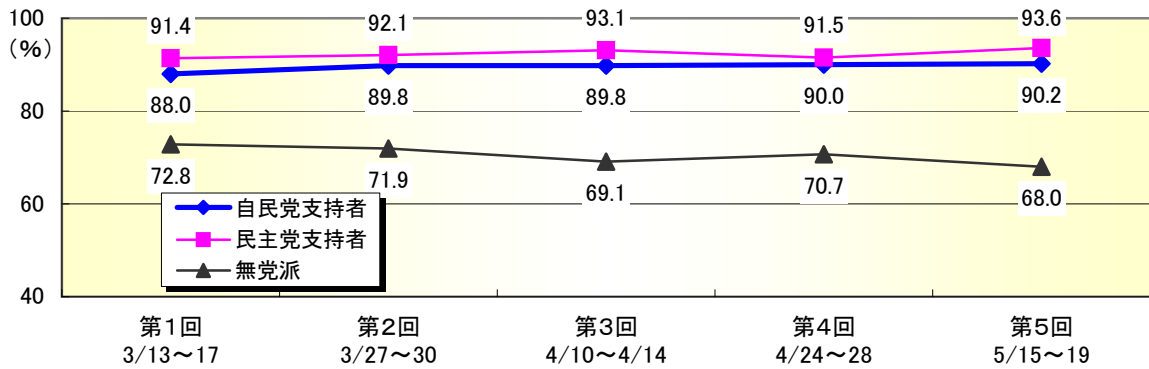
投票政党を選ぶのに一番影響を与えるもの (n=1,500)

要因	自民党支持者		民主党支持者		無党派	
	前回	今回	前回	今回	前回	今回
麻生首相の天下り等への対応(1月上旬~2月上旬)	⑤ ⇨	4%	① ⇨	19% ②	④ ⇨	10% ③
小沢代表の秘書ら逮捕(3/4~)	① ⇩	16% ②	③ ⇩	2%	③ ⇩	7%
ミサイル発射通告、飛翔体発射に対する政府対応(3/24~)	④ ⇩	2%	⇨	1%	⑤ ⇨	1%
15兆円規模の追加経済対策実施(4/10)	② ⇧	26% ①	② ⇨	17% ③	① ⇨	17% ①
森田健作氏、選挙法違反疑惑で告発(4/15)	⇨	1%	⇩	1%	⇨	1%
新型インフルの発生をめぐる政府対応(4/26~)	★	10% ④	★	6% ⑤	★	7% ⑤
補正予算に対する民主党の批判(5/8)	★	3%	★	4%	★	1%
小沢代表、民主党代表を辞任(5/11)	★	8% ⑤	★	9% ④	★	9% ④
小沢代表辞任をめぐる麻生首相の発言(5/11)	★	1%	★	2%	★	1%
日露首脳会談と北方領土問題の協議(5/12)	★	2%	★	0%	★	1%
鴻池官房副長官、女性問題で引責辞任(5/13)	★	1%	★	3%	★	3%
民主党新代表に鳩山氏就任(5/16)	★	12% ③	★	26% ①	★	15% ②

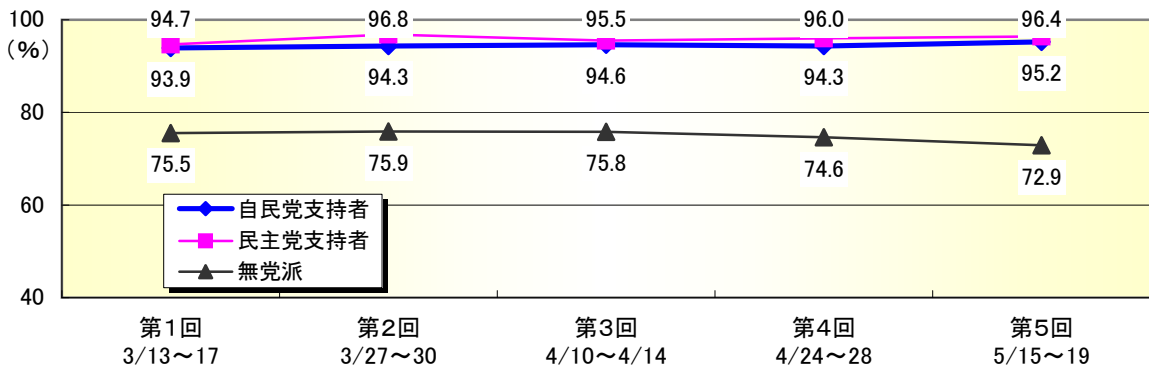
注) ★ は新規項目、⇩⇧ は前回より±5%の差、⇨⇩は前回より±5%未満の差、①~⑤は順位

II. 政治への関心と投票意識

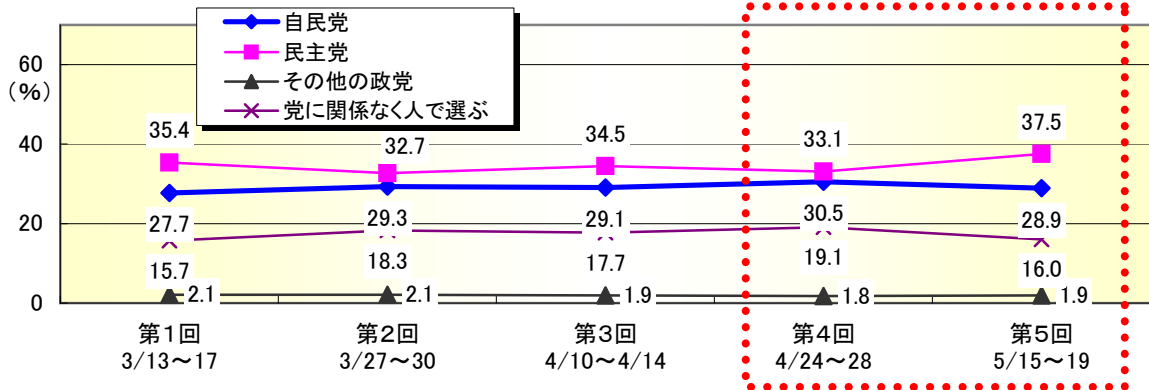
現在の日本の政治に対する関心度 (非常に+ある程度関心) (n=1,500)



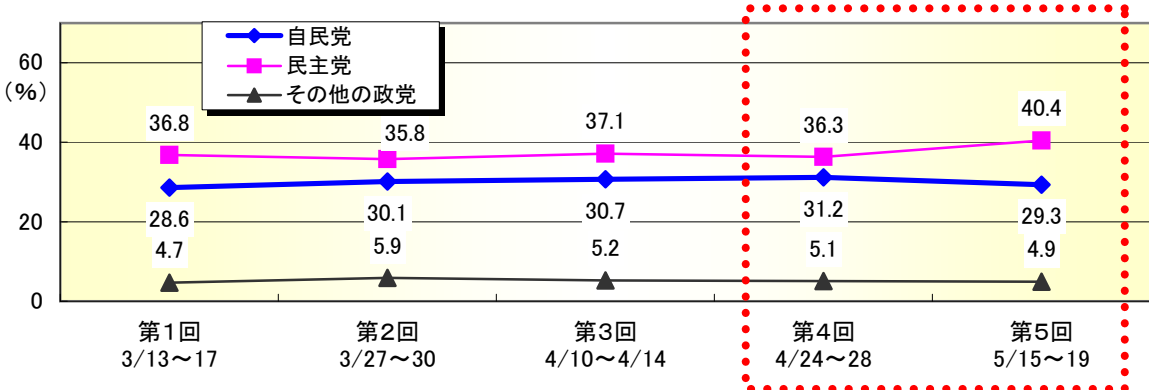
次回の衆議院選挙での投票行動 (必ず+多分投票に行く) (n=1,500)



選挙区での選挙における投票 (n=1,500)

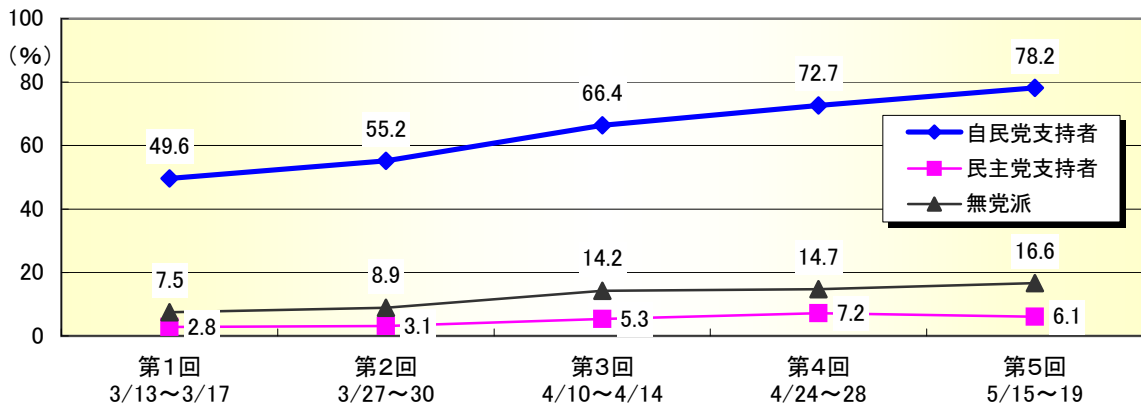


比例区での選挙における投票 (n=1,500)



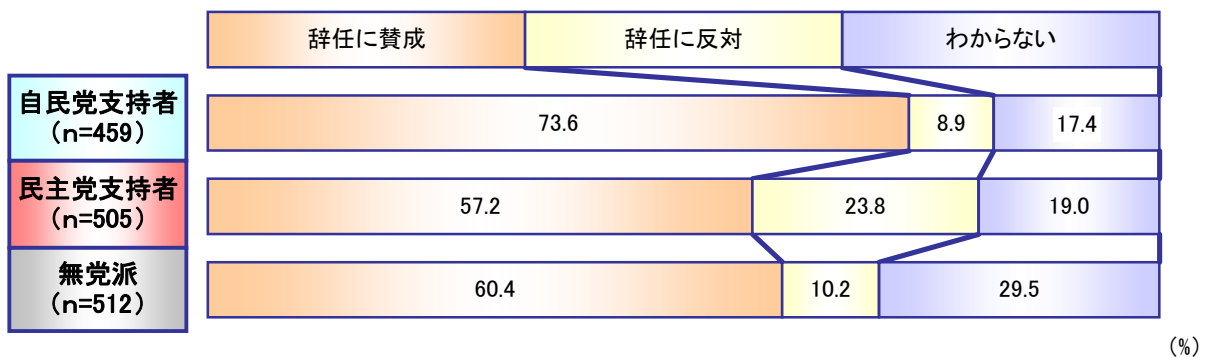
Ⅲ. 各党党首評価

麻生内閣の支持度合（非常に支持+ある程度支持できる）（n=1,500）



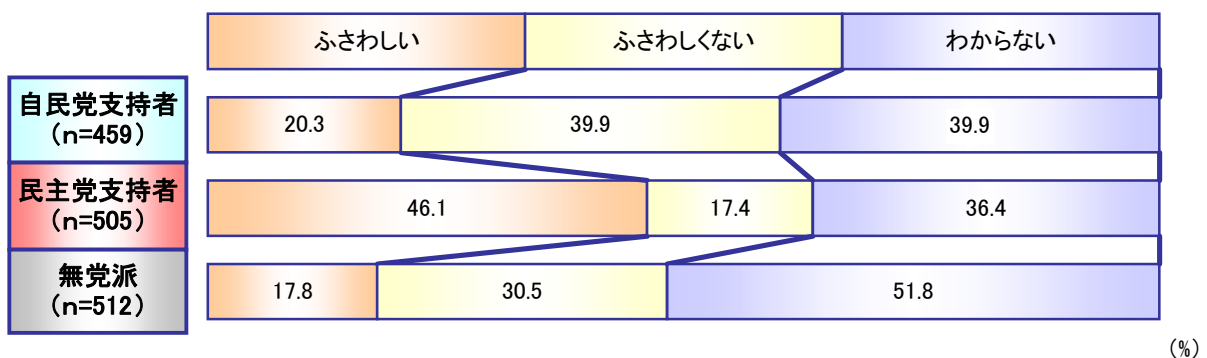
小沢代表の辞任について<支持政党別>

◆小沢代表(民主党)の辞任について<支持政党別>



民主党新代表・鳩山氏について<支持政党別>

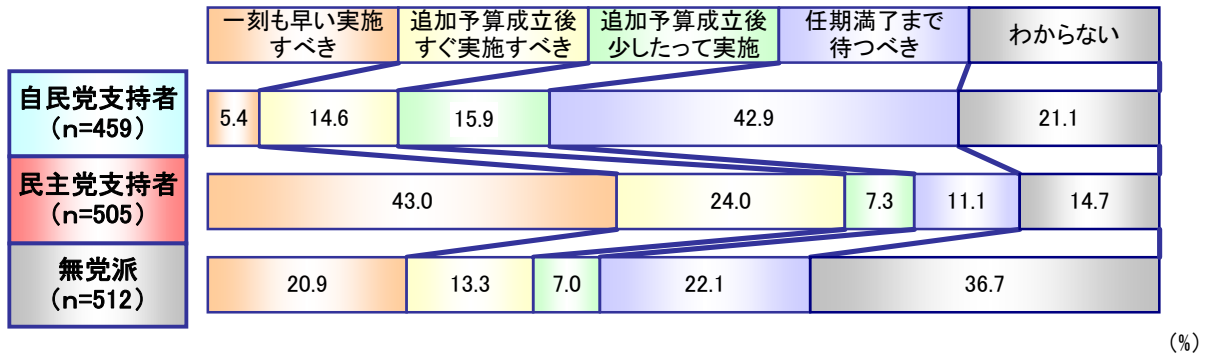
◆鳩山氏の民主党新代表選出について<支持政党別>



IV. 衆議院選挙の時期と選挙後の政権

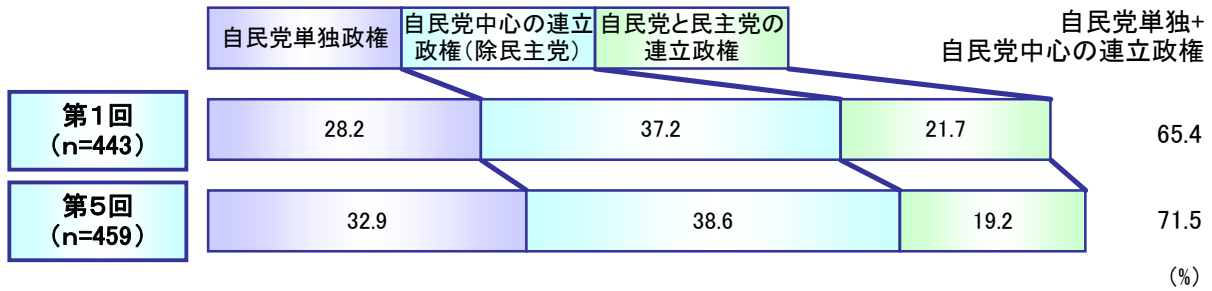
選挙の時期は？ <支持政党別>

◆衆議院総選挙実施のタイミングについて<支持政党別>

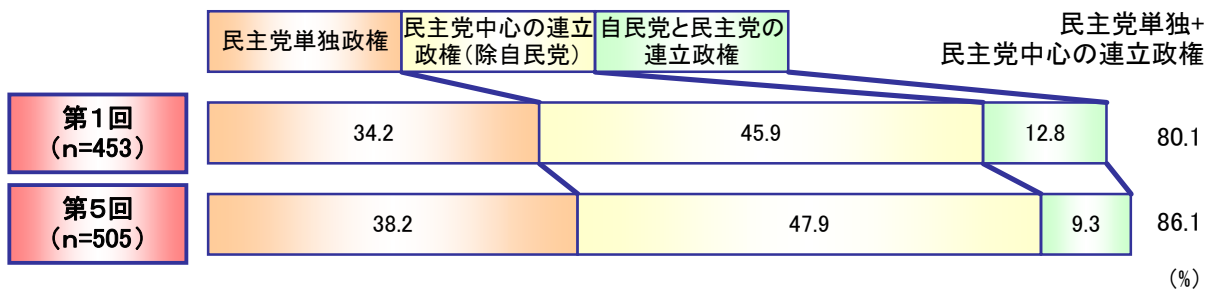


衆議院選後の理想の政権のあり方<支持政党別>

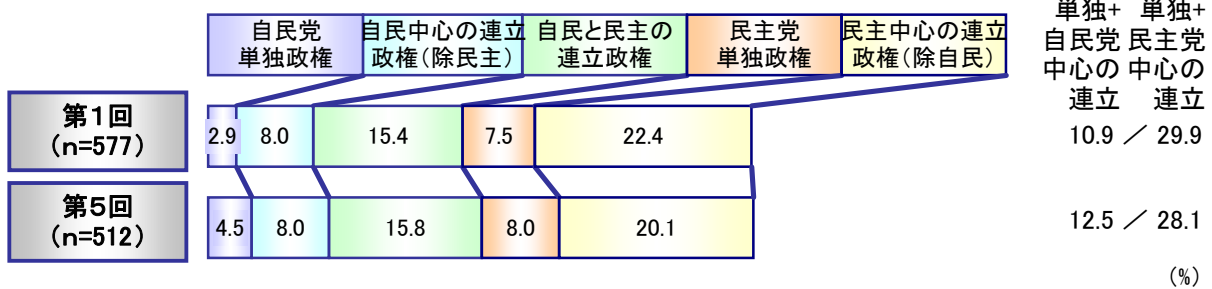
◆自民党支持者 第1回調査(3/13-17)⇒第5回調査(5/18-20)



◆民主党支持者 第1回調査(3/13-17)⇒第5回調査(5/18-20)



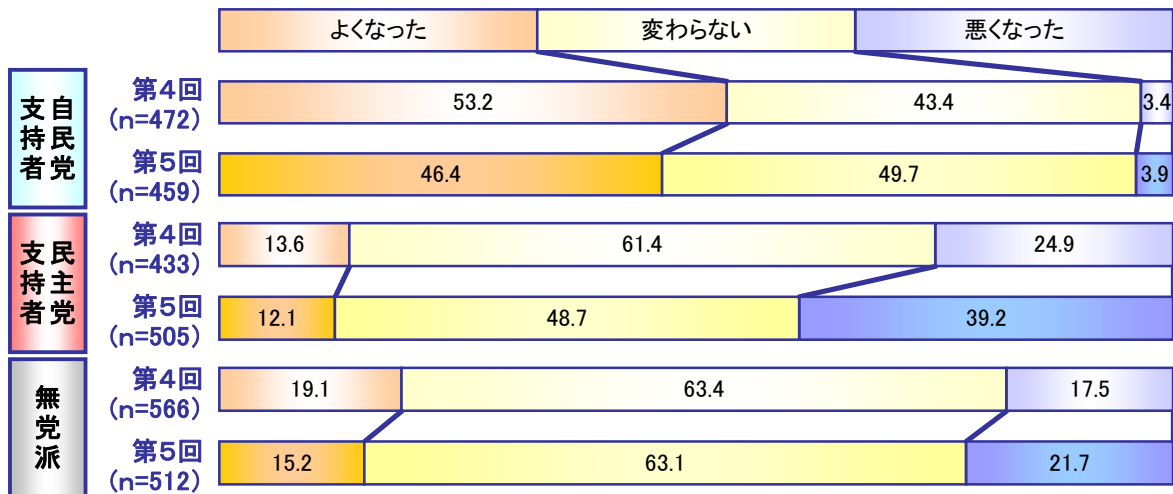
◆無党派 第1回調査(3/13-17)⇒第5回調査(5/18-20)



V. 追加経済対策の評価

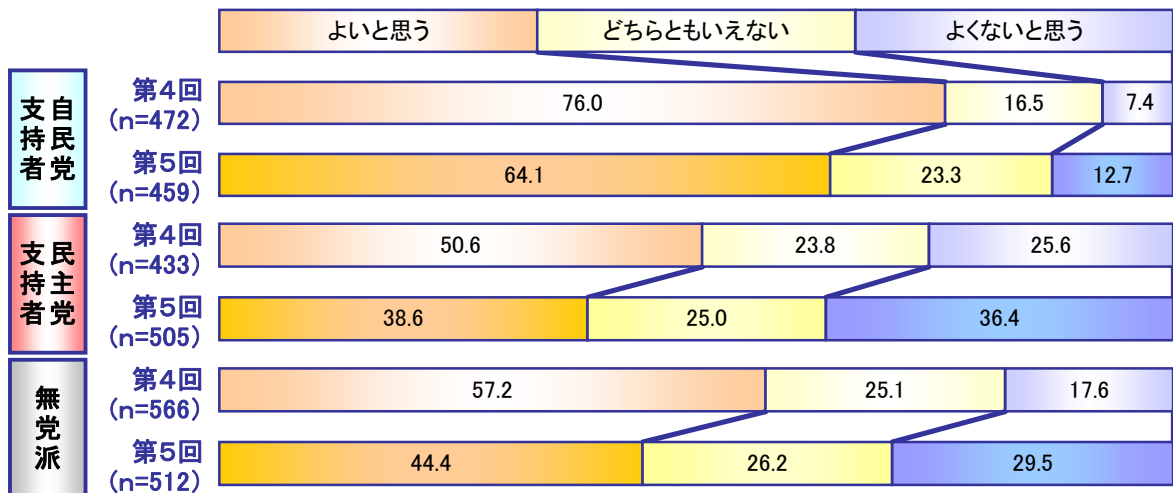
近況のトピックは、支持政党への変化に影響があるか？＜支持政党別＞

◆追加経済対策決定の影響は『自民党』についての印象を変えたか？＜支持政党別＞
第4回調査(4/24-28)⇒第5回調査(5/18-20)



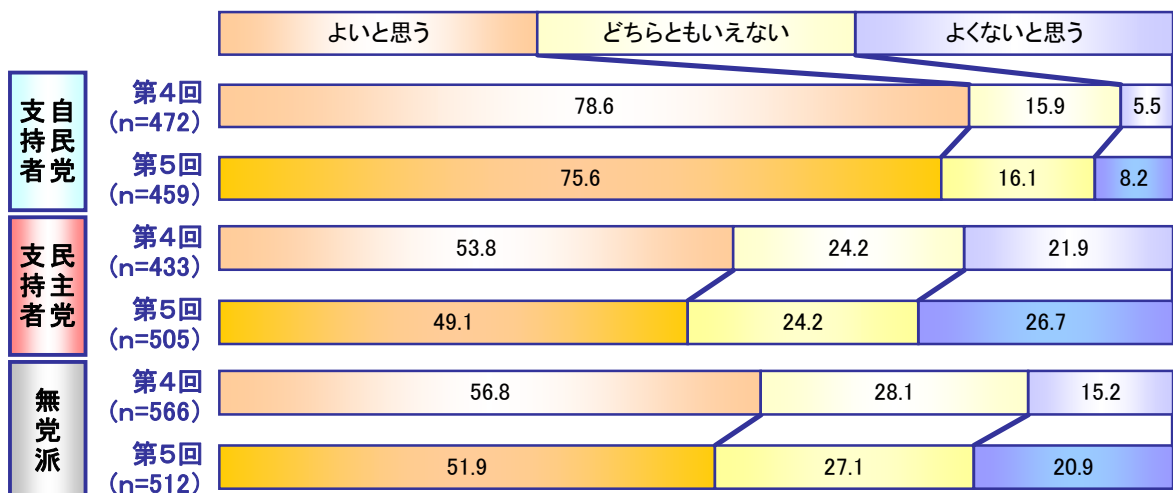
(%)

◆省エネ家電購入時のエコポイントの導入の政策への評価＜支持政党別＞
第4回調査(4/24-28)⇒第5回調査(5/18-20)



(%)

◆低燃費自動車買い替え補助と自動車取得税・重量税免除の政策への評価＜支持政党別＞
第4回調査(4/24-28)⇒第5回調査(5/18-20)



(%)

■NRC 自民VS民主 政党支持率追跡調査 実施概要

1. 調査の狙い

衆議院総選挙までの期間、有権者の支持政党の推移変動を把握するとともに、その変動要因となる政治的動向(政治家の発言、不祥事、政策の発動、外交活動等)や社会的事件の影響度合を検証する。

2. 調査フレーム

- ◆日本リサーチセンターのCyberPanel会員(ネットパネル)に対して、支持政党や政治的トピックに関する受け止め方についてネット調査を定期的に行う。
- ◆特定対象者(同じ対象者に対して調査を依頼し回答してもらう)に対する、追跡調査(衆議院選挙までの期間、実施予定)とする。
- ◆第1回目の調査依頼時点では、対象者の割付を、自民党支持、民主党支持、無党派で同サンプルに設定(500s×3グループ)することで、その後の追跡調査での支持政党のシェア変動をより明確にする。

[追跡調査実施までの手順]

Step1: 初回の追跡調査に先立ち、事前調査(3/6~12迄実施)で回答者のその時点の支持政党を把握する。

Step2: 事前調査の回答に基づき、自民党支持、民主党支持、無党派の3グループを作成する。

1つのグループが以下の割付となるよう、調査の発信・回収管理を行う。

Step3: 3月第4週(第1回調査)から隔週で定期的にネット調査での追跡調査を開始。

●1グループあたりの割付表(性別×年代 1セル50サンプルでの均等割付)

	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	50	50	50	50	50	250
女性	50	50	50	50	50	250
計	100	100	100	100	100	500

※1. 1グループあたり500s、自民支持層、民主支持層、無党派層の3グループ(事前調査時点の回答による)で合計1500sを回収目標とする。

※2. 各属性の割付セルで回収にバラつきが生じた場合は、上記割付数を基準にして各属性毎の割付が同比率になるように補正を行った。

3. 実査の概要

- ◆調査対象者
日本リサーチセンター・CyberPanel(ネットパネル)
- ◆回答方法
依頼メールを対象者に送付し、対象者はWeb上のアンケートサイトにアクセスの上、回答をする。
※下記調査期間中は、定員による締切を設定せず、いつアクセスしても回答できる状態としている。
(回答する時間帯による、回答バイアスを防ぐため)
- ◆対象者属性
・首都圏一都三県(東京、神奈川、千葉、埼玉)居住者
・20~60代の男女(市場調査・マスコミ業者、政党関係者を除く)
- ◆日程
第1回調査 2009年3月13日(金)~17日(火)
第2回調査 2009年3月27日(金)~30日(火)
第3回調査 2009年4月10日(金)~14日(火)
第4回調査 2009年4月24日(金)~28日(火)
第5回調査 2009年5月15日(金)~19日(火)
- ◆今後の調査予定
第6回調査 2009年5月29日(金)~6月2日(火)
*衆議院選挙投票の前週まで隔週で実施予定。

■問合せ先

株式会社日本リサーチセンター・デジタルリサーチデザイン開発チーム

URL <http://www.nrc.co.jp/>

Mail drdd@nrc.co.jp

Tel 0120-318-339

担当者 笹田、鈴木、小牧、伊東

■要約版について

弊社HPにて、リリース版よりも詳細データを整理した要約版もご用意しております。

<http://www.nrc.co.jp/report/090525.html>